

DRUG

INFORMATION

2003 No. 21

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室（内線2834）

平成15年9月5日発行

目 次

- 1 . 医薬品の採用・採用中止について 1
 - 平成 15 年 9 月 4 日の薬事委員会結果 -
- 2 . 新規院内処方医薬品について 4

Drug Information は医学部ホームページの下記アドレスにて提供しています。

<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/drug-info/index.htm>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。

yaku@cc.gifu-u.ac.jp

医薬品の採用・採用中止について

新規院内試用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
オキシコンチン錠(塩酸オキシコドン)	5mg/錠	癌疼痛治療剤	塩野義
オキシコンチン錠(塩酸オキシコドン)	10mg/錠	癌疼痛治療剤	塩野義
オプソ内服液(塩酸モルヒネ)	5mg/2.5mL/包	癌疼痛治療剤	大日本
カルブロック錠(アゼルニジピン)	16mg/錠	カルシウム拮抗剤	三共
プレドニゾロン錠(プレドニゾロン)	1mg/錠	副腎皮質ホルモン剤	旭化成
マグコロールP(クエン酸マグネシウム)	100g/包(在宅用パウチ入)	検査・手術前処置用下剤	堀井
ラキソベロン液(ピコスルファートナトリウム)	10mL/本(ユニットドーズ)	緩下剤	帝人
イミグラン点鼻液(スマトリプタン)	20mg/0.1mL/個	片頭痛治療剤	グラクソ・スミスクライン
ホクナリンテープ(ツロブテロール)	0.5mg/枚	経皮吸収型気管支拡張剤	マルホ
赤十字アルブミン 25(人血清アルブミン)	{25%} 50mL/V	血漿分画製剤	日本赤十字
筋注用ケナコルト-A(トリアムシノロンアセトニド)	40mg/1mL/V	副腎皮質ホルモン剤	ブリistol・マイヤーズ
ノボリン R 注フレックスペン(ヒトインスリン)	300 単位/3mL/本	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
ノボリン N 注フレックスペン(ヒトインスリン)	300 単位/3mL/本	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
ノボリン 10R 注フレックスペン(ヒトインスリン)	300 単位/3mL/本	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
ノボリン 30R 注フレックスペン(ヒトインスリン)	300 単位/3mL/本	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
ノボリン 50R 注フレックスペン(ヒトインスリン)	300 単位/3mL/本	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ

院内採用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
カバサル錠(カベルゴリン)	0.25mg/錠	ドパミン作動薬	キッセイ
リスパダール内服液(リスペリドン)	1mg/mL	抗精神病剤	ヤンセンファーマ
デタントール点眼液(塩酸ブナゾシン)	{0.01%} 5mL/本	緑内障・高眼圧症治療剤	参天
イムネース注(テセロイキン)	35 万 JRU/V	インターロイキン - 2 製剤	塩野義
注射用エラスポール(シベレスタットナトリウム水和物)	100mg/V	好中球エラスターゼ阻害剤	小野
オフサグリーン静注用(インドシアニングリーン)	25mg/V	蛍光眼底造影剤	参天
ベタフェロン皮下注(インターフェロン- β -1b)	960 万国単位/V	多発性硬化症治療剤	シェーリング
ペブレオ注(硫酸ペプロマイシン)	5mg/V	抗腫瘍性抗生物質	日本化薬
マーカイン注脊麻用等比重(塩酸プビパカイン)	{0.5%} 20mg/4mL/A	脊椎麻酔剤	アストラゼネカ
リゾリスト注(フェルカルボトラン)	44.6mg/1.6mL/V	MRI 用肝臓造影剤	シェーリング

院内採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アンコチル錠(フルシトシン)	500mg/錠	抗真菌剤	共和
カムリードカプセル(エンブロスチル)	25μg/Cp	プロスタグランジン製剤	田辺
ゼスランシロップ(メキタジン)	0.3mg/mL	アレルギー性疾患治療剤	旭化成
チロナミン錠(リオチロニンナトリウム)	5μg/錠	甲状腺ホルモン製剤	武田
ラキソベロン錠(ピコスルファートナトリウム)	2.5mg/錠	緩下剤	帝人
アスプール液(dl-塩酸イソプロテレノール)	{0.5%} 50mL/V	気管支拡張剤	アズウェル
サラゾピリン坐剤(サラゾスルファピリジン)	500mg/個	潰瘍性大腸炎治療剤	三菱ウェルファーマ
イミグラン注(コハク酸スマトリブタン)	3mg/1mL/A	片頭痛治療剤	グラクソ・スミスクライン
コージネイト FS 注射用(オクトコグアルファ)	1,000 国際単位/V	血液凝固第 因子製剤	バイエル
フェリデックス注(フェルモキシデス)	56mg/5mL/A	MRI 造影剤	田辺
ペルカミンエス注射液(塩酸ジブカイン)	9mg/3mL/A	局所麻酔剤	メルク・ホエイ
ペンフィル R 注(ヒトインスリン)	150 単位/1.5mL/本	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
ペンフィル N 注(ヒトインスリン)	150 単位/1.5mL/本	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
ペンフィル 10R 注(ヒトインスリン)	150 単位/1.5mL/本	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
ペンフィル 30R 注(ヒトインスリン)	150 単位/1.5mL/本	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
ペンフィル 50R 注(ヒトインスリン)	150 単位/1.5mL/本	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ

在庫がなくなり次第，処方中止とします。

製剤変更医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
エサンブートル錠 エブートル錠	250mg/錠	結核化学療法剤	ワイスレダリー 科研
リーバクト顆粒	4.74g/包 4.15g/包	分岐鎖アミノ酸製剤	味の素ファルマ
ローコールカプセル ローコール錠	20mg/Cp 20mg/錠	HMG-CoA 還元酵素阻害剤	ノバルティスファーマ
トロンビン末 トロンビン液ソフトボトル	10,000 単位/本	止血剤	持田
ミドリリンP点眼液	10mL/本 5mL/本	検査用散瞳点眼剤	参天

旧剤型品の在庫がなくなり次第，変更とします。

名称変更医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
ベノキシール液 ベノキシール点眼液	{0.4%} 5mL/本	眼科用表面麻酔剤	参天
マイトマイシン S マイトマイシン注用	2mg/V	抗悪性腫瘍剤	協和醗酵
ジゴキシニン錠 ジゴキシニン KY 錠	0.25mg/錠	ジギタリス配糖体製剤	トーアエイヨー
セレネース液 セレネース内服液	2mg/mL	抗精神病剤	大日本
アトラント液 アトラント外用液	{1%} 10mL/本	抗真菌剤	エスエス
GS プラスターH GS プラスターH140	10 × 14cm/枚	鎮痛・消炎貼付剤	祐徳

院外処方医薬品(追加分)

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
SG 顆粒(配合剤)	1g/包	解熱鎮痛剤	塩野義
オプソ内服液(塩酸モルヒネ)	10mg/5mL/包	癌疼痛治療剤	大日本
ディオバン錠(バルサルタン)	40mg/錠	アンジオテンシン 受容体拮抗剤	ノバルティスファーマ
アクアチム軟膏(ナジフロキサシン)	{1%} 10g/本	ニューキノロン系抗菌剤	大塚
イミグラン点鼻液(スマトリプタン)	20mg/0.1mL/個	片頭痛治療剤	グラクソ・スミスクライン
エストラダーム M(エストラジオール)	0.72mg/9cm ² /枚	エストラジオール製剤	キッセイ
デスモプレシン・スプレー10(酢酸デスモプレシン)	500μg/5mL/瓶	夜尿症用剤	協和醗酵
ニゾラルローション(ケトコナゾール)	{2%} 10g/本	抗真菌剤	ヤンセンファーマ
フルタイド 50 エアー(プロピオン酸フルチカゾン)	10.6g/缶	吸入ステロイド喘息治療剤	グラクソ・スミスクライン
モビラート軟膏(配合剤)	50g/本	経皮複合消炎剤	マルホ
ラミシールスプレー(塩酸テルビナフィン)	{1%} 10g/本	抗真菌剤	ノバルティスファーマ
ノボリン R 注フレックスペン(ヒトインスリン)	300 単位/3mL/本	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
ノボリン N 注フレックスペン(ヒトインスリン)	300 単位/3mL/本	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
ノボリン 10R 注フレックスペン(ヒトインスリン)	300 単位/3mL/本	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
ノボリン 30R 注フレックスペン(ヒトインスリン)	300 単位/3mL/本	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
ノボリン 50R 注フレックスペン(ヒトインスリン)	300 単位/3mL/本	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ

新規院内処方医薬品について

* 塩酸オキシコドン Oxycodone Hydrochloride

【商】オキシコンチン OxyContin 塩野義

内用：錠剤(麻薬) 1錠中 5mg, 10mg

【禁】重篤な呼吸抑制のある患者，重篤な慢性閉塞性肺疾患の患者，気管支喘息発作中の患者，慢性肺疾患に続発する心不全の患者，痙攣状態（てんかん重積症，破傷風，ストリキニーネ中毒）にある患者，麻痺性イレウスの患者，急性アルコール中毒の患者，アヘンアルカロイドに対し過敏症の患者，出血性大腸炎の患者 細菌性下痢のある患者

【効】中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛

【用】1日 10～80mg を2回に分割投与する。

【副】ショック，薬物依存，退薬症候（減量・中止による），呼吸抑制，錯乱，譫妄，無気肺，気管支痙攣，喉頭浮腫，麻痺性イレウス，中毒性巨大結腸 発疹，不整脈，血圧変動，眠気，眩暈，発汗，幻覚，傾眠，意識障害，しびれ，筋攣縮，頭重感，焦燥，不安，異夢，悪夢，興奮，視調節障害，便秘，嘔気，嘔吐，下痢，食欲不振，胃不快感，口渇，痒痒感，発熱，脱力感，倦怠感，胸部圧迫感，顔面潮紅，排尿障害，頭蓋内圧亢進

【妊】有益のみ 【授】授乳回避

【新・乳・幼・小】未確立

* 塩酸モルヒネ Morphine Hydrochloride

【商】オプソ Opso 大日本

内用：液剤(麻薬) 1包（2.5mL）中 5mg

【禁】重篤な呼吸抑制のある患者，気管支喘息発作中の患者，重篤な肝障害のある患者，慢性肺疾患に続発する心不全の患者，痙攣状態（てんかん重積症，破傷風，ストリキニーネ中毒）にある患者，急性アルコール中毒の患者，本剤の成分およびアヘンアルカロイドに対し過敏症の患者，出血性大腸炎の患者 細菌性下痢のある患者

【効】中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛

【用】1日 30～120mg を1日6回に分割投与する。

【副】薬物依存，退薬症候（減量・中止による），呼吸抑制，錯乱，譫妄，無気肺，気管支痙攣，喉頭浮腫，麻痺性イレウス，中毒性巨大結腸 低血圧，不整脈，血圧変動，顔面潮紅，呼吸抑制，一過性無呼吸，低酸素血症，眠気，意識障害，一過性失明，ふらつき，頭重感，眩暈，不安，不穏，興奮，視調節障害，発汗，嘔気，嘔吐，便秘，食欲不振，腹部不快感，口渇，痒痒感，発疹，ALT・Al-P 上昇，AST 上昇，排尿障害，全身倦怠感，頭蓋内圧亢進

【妊】有益のみ 【授】授乳回避

【新・乳】慎重

* アゼルニジピン Azelnidipine

【商】カルブロック Calblock 三共

内用：錠剤 1錠中 16mg

【禁】妊婦又は妊娠している可能性のある婦人，本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者，アゾール系抗真菌剤（イトラコナゾール，ミコナゾール等）・HIV プロテアーゼ阻害剤（リトナビル，サキナビル，インジナビル等）を投与中の患者

【効】高血圧症

【用】1日1回 8～16mg を朝食後投与する。1回 8mg あるいは更に低用量から投与を開始し，1日最大 16mg までとする。

【副】痒痒，発疹，頭痛・頭重感，立ちくらみ，ふらつき，めまい，浮遊感，便秘，動悸，顔面紅潮，ほてり，倦怠感，好酸球増多，ALT・AST・LDH 上昇，Al-P・総ビリルビン上昇，BUN 上昇，尿酸上昇，総コレステロール上昇，CK 上昇，K 上昇，K 低下，尿硝子円柱増加

【妊】不可

【授】回避，やむを得ない場合は授乳中止

【未・新・乳・幼・小】未確立

* プレドニゾロン Prednisolone

【商】プレドニゾロン 旭化成

内用：錠剤 1錠中 1mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 有効な抗菌剤の存在しない感染症・全身の真菌症の患者，消化性潰瘍の患者，精神病患者，結核性疾患の患者，単純疱疹性角膜炎の

患者，後囊白内障の患者，緑内障の患者，高血圧症の患者，電解質異常のある患者，血栓症の患者，最近行った内臓の手術創のある患者，急性心筋梗塞を起こした患者

【効】慢性副腎皮質機能不全(原発性，続発性，下垂体性，医原性)，急性副腎皮質機能不全(副腎クリーゼ)，副腎性器症候群，亜急性甲状腺炎，甲状腺中毒症(甲状腺(中毒性)クリーゼ)，甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症，ACTH 単独欠損症，慢性関節リウマチ，若年性関節リウマチ(スチル病を含む)，リウマチ熱(リウマチ性心炎を含む)，リウマチ性多発筋痛，エリテマトーデス(全身性及び慢性円板状)，全身性血管炎(大動脈炎症候群，結節性動脈周囲炎，多発性動脈炎，ヴェゲナ肉芽腫症を含む)，多発性筋炎(皮膚筋炎)，強皮症，ネフローゼ及びネフローゼ症候群，うっ血性心不全，気管支喘息，喘息性気管支炎(小児喘息性気管支炎を含む)，薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒(薬疹，中毒疹を含む)，血清病，重症感染症(化学療法と併用する)，溶血性貧血(免疫性又は免疫性機序の疑われるもの)，白血病(急性白血病，慢性骨髄性白血病の急性転化，慢性リンパ性白血病)(皮膚白血病を含む)，顆粒球減少症(本態性，続発性)，紫斑病(血小板減少性及び血小板非減少性)，再生不良性貧血，凝固因子の障害による出血性素因，限局性腸炎，潰瘍性大腸炎，重症消耗性疾患の全身状態の改善(癌末期，スブルーを含む)，劇症肝炎(臨床的に重症とみなされるものを含む)，胆汁うっ滞型急性肝炎，慢性肝炎(活動型，急性再燃型，胆汁うっ滞型)(一般的治療に反応せず肝機能の著しい異常が持続する難治性のものに限る)，肝硬変(活動型，難治性腹水を伴うもの，胆汁うっ滞を伴うもの)，サルコイドーシス(両側肺門リンパ節腫脹のみの場合を除く)，びまん性間質性肺炎(肺線維症)(放射線肺臓炎を含む)，肺結核(粟粒結核，重症結核に限る)(抗結核剤と併用する)，結核性髄膜炎(抗結核剤と併用する)，結核性胸膜炎(抗結核剤と併用する)，結核性腹膜炎(抗結核剤と併用する)，結核性心嚢炎(抗結核剤と併用する)，脳脊髄炎(脳炎，脊髄炎を含む)(一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ，かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること)，末梢神経炎(ギランバレー症候群を含む)，筋強直症，重症筋無力症，多

発性硬化症(視束脊髄炎を含む)，小舞蹈病，顔面神経麻痺，脊髄蜘蛛膜炎，悪性リンパ腫(リンパ肉腫症，細網肉腫症，ホジキン病，皮膚細網症，菌状息肉症)及び類似疾患(近縁疾患)，好酸性肉芽腫，乳癌の再発転移，特発性低血糖症，原因不明の発熱，副腎摘除，臓器・組織移植，侵襲後肺水腫，副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲，蛇毒・昆虫毒(重症の虫さされを含む)，強直性脊椎炎(リウマチ性脊椎炎)，卵管整形術後の癒着防止，副腎皮質機能障害による排卵障害，前立腺癌(他の療法が無効な場合)，陰茎硬結，湿疹・皮膚炎群(急性湿疹，亜急性湿疹，慢性湿疹，接触皮膚炎，貨幣状湿疹，自家感作性皮膚炎，アトピー皮膚炎，乳・幼・小児湿疹，ビダール苔癬，その他の神経皮膚炎，脂漏性皮膚炎，進行性指掌角皮症，その他の手指の皮膚炎，陰部あるいは肛門湿疹，耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎，鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎等)(重症例以外は極力投与しないこと)，痒疹群(小児ストロフルス，蕁麻疹様苔癬，固定蕁麻疹を含む)(重症例に限る。固定蕁麻疹は局注が望ましい)，蕁麻疹(慢性例を除く)(重症例に限る)，乾癬及び類症(尋常性乾癬(重症例)，関節症性乾癬，乾癬性紅皮症，膿疱性乾癬，稽留性肢端皮膚炎，疱疹状膿疱疹，ライター症候群)，掌蹠膿疱症(重症例に限る)，毛孔性紅色粧糠疹(重症例に限る)，扁平苔癬(重症例に限る)，成年性浮腫性硬化症，紅斑症(多形滲出性紅斑，結節性紅斑)(多形滲出性紅斑の場合は重症例に限る)，アナフィラクトイド紫斑(単純型，シェーンライン型，ヘノッホ型)(重症例に限る)，ウェーバークリスチャン病，粘膜皮膚眼症候群(開口部びらん性外皮症，スチブンス・ジョンソン病，皮膚口内炎，フックス症候群，ベーチェット病(眼症状のない場合)，リップシュッツ急性陰門潰瘍)，レイノー病，円形脱毛症(悪性型に限る)，天疱瘡群(尋常性天疱瘡，落葉状天疱瘡，Senear-Usher 症候群，増殖性天疱瘡)，デューリング疱疹状皮膚炎(類天疱瘡，妊娠性疱疹を含む)，先天性表皮水疱症，帯状疱疹(重症例に限る)，紅皮症(ヘブラ紅色粧糠疹を含む)，顔面播種状粟粒性狼瘡(重症例に限る)，アレルギー性血管炎及びその類症(急性痘瘡様苔癬状粧糠疹を含む)，潰瘍性慢性膿皮症，新生児スクレレーマ，内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療

法(ブドウ膜炎, 網脈絡膜炎, 網膜血管炎, 視神経炎, 眼窩炎性偽腫瘍, 眼窩漏斗尖端部症候群, 眼筋麻痺), 外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合(眼瞼炎, 結膜炎, 角膜炎, 強膜炎, 虹彩毛様体炎), 眼科領域の術後炎症, 急性・慢性中耳炎, 滲出性中耳炎・耳管狭窄症, メニエル病及びメニエル症候群, 急性感音性難聴, 血管運動(神経)性鼻炎, アレルギー性鼻炎, 花粉症(枯草熱), 副鼻腔炎・鼻茸, 進行性壊疽性鼻炎, 喉頭炎・喉頭浮腫, 食道の炎症(腐蝕性食道炎, 直達鏡使用後)及び食道拡張術後, 耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法, 難治性口内炎及び舌炎(局所療法で治癒しないもの), 嗅覚障害, 急性・慢性(反復性)唾液腺炎

【用】1日5~60mgを1~4回に分割投与する。

【副】誘発感染症, 感染症の増悪, 続発性副腎皮質機能不全, 糖尿病, 消化管潰瘍, 消化管穿孔, 消化管出血, 肺炎, 精神変調, うつ状態, 痙攣, 骨粗鬆症, 骨頭無菌性壊死, ミオパチー, 緑内障, 後囊白内障, 中心性漿液性網脈絡膜症, 多発性後極部網膜色素上皮症, 血栓症, 心筋梗塞, 脳梗塞, 動脈瘤, 硬膜外脂肪腫 発疹, 月経異常, 下痢, 悪心・嘔吐, 胃痛, 胸やけ, 腹部膨満感, 口渇, 食欲不振・亢進, 多幸症, 不眠, 頭痛, めまい, 筋肉痛, 関節痛, 満月様顔貌, 野牛肩, 窒素負平衡, 脂肪肝, 浮腫, 血圧上昇, 低K性アルカローシス, 網膜障害, 眼球突出, 白血球増多, 瘰癧, 多毛, 脱毛, 色素沈着, 皮下溢血, 紫斑, 線条, 癢痒, 発汗異常, 顔面紅斑, 創傷治癒障害, 皮膚菲薄化・脆弱化, 脂肪織炎, 発熱, 疲労感, ステロイド腎症, 体重増加, 精子数及びその運動性の増減, 尿路結石

【妊】有益のみ 【授】授乳回避

【未・新・乳・幼・小】慎重

*クエン酸マグネシウム Magnesium Citrate

【商】マグコロールP Magcorol P 堀井

内用: 散剤(在宅パウチ) 1包(100g)中68g

【禁】急性腹症が疑われる患者, 腎障害のある患者, 重症の硬結便のある患者, 消化管に閉塞のある患者, 中毒性巨大結腸症の患者

【効】大腸検査(X線・内視鏡)前処置における腸管内容物の排除, 腹部外科手術時における前処置用下剤

【用】○大腸 X線検査前処置, 腹部外科手術時

における前処置: [高張液投与] 34g(本剤50g)を水に溶解し, 全量約180mLとする。1回144~180mLを検査予定時間の10~15時間前に経口投与する。○大腸内視鏡検査前処置: [高張液投与] 34g(本剤50g)を水に溶解し, 全量約180mLとする。1回144~180mLを検査予定時間の10~15時間前に経口投与する。[等張液投与] 68g(本剤100g)を水に溶解し, 全量約1,800mLとする。1回1,800mLを検査予定時間の4時間以上前に200mLずつ約1時間かけて経口投与する。最大投与量は2,400mLとする。

【副】発疹, 蕁麻疹, 癢痒感, 腹部膨満感, 腹痛, 悪心, 嘔吐, 腹鳴, 熱感, 潮紅, しびれ, 顔面蒼白, 血圧低下, めまい, ふらつき, 脱力感, 不快感, 尿ケトン体の陽性化, 尿酸値上昇, 総ビリルビン上昇, AST・ALT・総コレステロール上昇, 尿pH上昇, BUN低下, 尿蛋白の陽性化, 血清Mg上昇, 白血球数増加, 単球異常, 血清Ca・Na・K・Cl異常

【妊】回避

【小】回避

*ピコスルファートナトリウム

Sodium Picosulfate

【商】ラキソベロン Laxoberon 帝人

内用: 液剤(ユニットドーズ)

1本(10mL)中75mg

【禁】急性腹部疾患の患者

【効】各種便秘症, 術後排便補助, 造影剤(硫酸バリウム)投与後の排便促進, 大腸検査(X線・内視鏡)前処置における腸管内容物の排除

【用】○各種便秘症: 成人には1日1回10~15滴を投与する。小児には1日1回, 次の基準で投与する。6ヵ月以下: 2滴, 7~12ヵ月: 3滴, 1~3歳: 6滴, 4~6歳: 7滴, 7~15歳: 10滴を投与する。○術後排便補助: 成人には1日1回10~15滴を投与する。○造影剤(硫酸バリウム)投与後の排便促進: 成人には6~15滴を投与する。○大腸検査(X線・内視鏡)の前処置における腸管内容物の排除: 成人には検査予定時間10~15時間前に20mLを投与する。

【副】虚血性大腸炎 腹痛, 悪心, 嘔吐, 腹鳴, 腹部膨満感, 蕁麻疹, 発疹, AST・ALT上昇

【妊】未確立, 有益のみ

【貯】遮光

＊スマトリプタン Sumatriptan

【商】イミグラン Imigran

グラクソ・スミスクライン

外用：点鼻剤^㉑ 1個（0.1mL）中 20mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者，心筋梗塞の既往歴のある患者，虚血性心疾患又はその症状・兆候のある患者，異型狭心症（冠動脈攣縮）のある患者，脳血管障害や一過性脳虚血性発作の既往のある患者，末梢血管障害を有する患者，コントロールされていない高血圧症の患者，重篤な肝機能障害を有する患者，エルゴタミン・エルゴタミン誘導体含有製剤あるいは他の 5-HT_{1B/1D} 受容体作動薬を投与中の患者，MAO 阻害剤を投与中あるいは投与中止 2 週間以内の患者

【効】片頭痛

【用】1 回 20mg を片頭痛の頭痛発現時に鼻腔内投与する。

【副】アナフィラキシーショック，アナフィラキシー様症状，虚血性心疾患様症状（不整脈，狭心症，心筋梗塞を含む），てんかん様発作，蕁麻疹，発疹，鼻炎，刺激感・灼熱感，鼻出血，動悸，頻脈，一過性の血圧上昇，徐脈，低血圧，レイノー現象，虚血性大腸炎，悪心，嘔吐，視野狭窄，ちらつき，複視，眼振，暗点，一過性の視力低下，眠気，めまい，肝機能検査値異常，痛み，熱感，倦怠感，潮紅，苦み，重感，逼迫感，圧迫感，しびれ，脱力感

【妊】未確立，有益のみ

【授】投与後 24 時間授乳回避

【小】未確立

【貯】遮光

＊ツロブテロール Tulobuterol

【商】ホクナリンテープ Hokunalin Tape
マルホ

外用：貼付剤 1 枚中 0.5mg

【禁】カテコールアミン製剤（エピネフリン，イソプロテレノール等）を投与中の患者，本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】下記疾患の気道閉塞性障害に基づく呼吸困難等諸症状の緩解：気管支喘息，急性気管支炎，慢性気管支炎，肺気腫

【用】成人には 2mg，小児には 0.5～3 歳未満には 0.5mg，3～9 歳未満には 1mg，9 歳以上には

2mg を 1 日 1 回，胸部，背部又は上腕部のいずれかに貼付する。

【副】アナフィラキシー様症状 血清 K 値の低下 発疹，痒感，心悸亢進，顔面潮紅，不整脈，頻脈，振戦，頭痛，全身倦怠感，不眠，めまい，熱感，悪心・嘔吐，食欲不振，胃部不快感，下痢，貼付部位の痒感・発赤・かぶれ，CK 上昇，口渴，血清 K 値低下

【妊】未確立，有益のみ 【授】授乳回避

【乳】6 ヶ月未満：未確立

【小】長期投与未確立

＊人血清アルブミン Human Serum Albumin

【商】赤十字アルブミン Sekijuji Albumin

日本赤十字社

注射：液剤 1 瓶（50mL）中 12.5g

【禁】本剤の成分に対しショックの既往歴のある患者 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】アルブミンの喪失（熱傷，ネフローゼ症候群等）及びアルブミン合成低下（肝硬変症等）による低アルブミン血症，出血性ショック

【用】1 回 20～50mL（5～12.5g）を緩徐に静注又は点滴静注する。

【副】ショック 発熱，顔面潮紅，蕁麻疹，悪寒，腰痛

【妊】未確立，有益のみ

【未・新・乳・幼・小】未確立

＊トリアムシノロンアセトニド

Triamcinolone Acetonide

【商】ケナコルト - A Kenacort-A

ブリストル・マイヤーズ

注射：液剤 1 瓶（1mL）中 40mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者，感染症のある関節腔内・滑液嚢内・腱鞘内又は腱周囲，動揺関節の関節腔内 有効な抗菌剤の存在しない感染症・全身の真菌症の患者，消化性潰瘍の患者，精神病の患者，結核性疾患の患者，単純疱疹性角膜炎の患者，後嚢白内障の患者，緑内障の患者，高血圧症の患者，電解質異常のある患者，血栓症の患者，最近行った内臓の手術創のある患者，急性心筋梗塞を起こした患者

【効】〔筋肉内注射〕慢性副腎皮質機能不全(原

発性，続発性，下垂体性，医源性)，副腎性器症候群，亜急性甲状腺炎，甲状腺中毒症(甲状腺(中毒性)クリーゼ)，慢性関節リウマチ，若年性関節リウマチ(スチル病を含む)，リウマチ熱(リウマチ性心炎を含む)，リウマチ性多発筋痛，エリテマトーデス(全身性及び慢性円板状)，全身性血管炎(大動脈炎症候群，結節性動脈周囲炎，多発性動脈炎，ヴェゲナ肉芽腫症を含む)，多発性筋炎(皮膚筋炎)，強皮症，ネフローゼ及びネフローゼ症候群，うっ血性心不全，気管支喘息(筋肉内注射以外の投与方法では不適当な場合に限る)，薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒(薬疹，中毒疹を含む)，血清病，重症感染症(化学療法と併用する)，溶血性貧血(免疫性又は免疫性機序の疑われるもの)，白血病(急性白血病，慢性骨髄性白血病の急性転化，慢性リンパ性白血病)(皮膚白血病を含む)，顆粒球減少症(本態性，続発性)，紫斑病(血小板減少性及び血小板非減少性)，再生不良性貧血，凝固因子の障害による出血性素因，限局性腸炎，潰瘍性大腸炎，重症消耗性疾患の全身状態の改善(癌末期，スブルーを含む)，肝硬変(活動型，難治性腹水を伴うもの，胆汁うっ滞を伴うもの)，脳脊髄炎(脳炎，脊髄炎を含む)(一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ，かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること)，末梢神経炎(ギランバレー症候群を含む)，重症筋無力症，多発性硬化症(視束脊髄炎を含む)，小舞蹈病，顔面神経麻痺，脊髄蜘蛛膜炎，悪性リンパ腫(リンパ肉腫症，細網肉腫症，ホジキン病，皮膚細網症，菌状息肉症)及び類似疾患(近縁疾患)，好酸性肉芽腫，特発性低血糖症，副腎摘除，臓器・組織移植，副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲，蛇毒・昆虫毒(重症の虫さされを含む)，強直性脊椎炎(リウマチ性脊椎炎)，卵管整形術後の癒着防止，前立腺癌(他の療法が無効な場合)，乳癌の再発転移，湿疹・皮膚炎群(急性湿疹，亜急性湿疹，慢性湿疹，接触皮膚炎，貨幣状湿疹，自家感作性皮膚炎，アトピー皮膚炎，乳・幼・小児湿疹，ピダール苔癬，その他の神経皮膚炎，脂漏性皮膚炎，進行性指掌角皮症，その他の手指の皮膚炎，陰部あるいは肛門湿疹，耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎，鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎等)(重症例以外は極力投与しないこと)，蕁麻疹(慢性例を除く)(重症例に限る)，

乾癬及び類症(尋常性乾癬(重症例)，関節症性乾癬，乾癬性紅皮症，膿疱性乾癬，稽留性肢端皮膚炎，疱疹状膿痂疹，ライター症候群)，掌蹠膿疱症(重症例に限る)，扁平苔癬(重症例に限る)，成年性浮腫性硬化症，紅斑症(多形滲出性紅斑，結節性紅斑)(多形滲出性紅斑の場合は重症例に限る)，粘膜皮膚眼症候群(開口部びらん性外皮膚症，スチブンス・ジョンソン病，皮膚口内炎，フックス症候群，ベーチェット病(眼症状のない場合)，リップシュッツ急性陰門潰瘍)，天疱瘡群(尋常性天疱瘡，落葉状天疱瘡，Senear-Usher症候群，増殖性天疱瘡)，デューリング疱疹状皮膚炎(類天疱瘡，妊娠性疱疹を含む)，带状疱疹(重症例に限る)，紅皮症(ヘブラ紅色皰糠疹を含む)，痒疹群(小児ストロフルス，蕁麻疹様苔癬，固定蕁麻疹を含む)(重症例に限る。固定蕁麻疹は局注が望ましい)，内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法(ブドウ膜炎，網脈絡膜炎，網膜血管炎，視神経炎，眼窩炎性偽腫瘍，眼窩漏斗尖端部症候群，眼筋麻痺)，外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合(眼瞼炎，結膜炎，角膜炎，強膜炎，虹彩毛様体炎)，急性・慢性中耳炎，滲出性中耳炎・耳管狭窄症，アレルギー性鼻炎，花粉症(枯草熱)，副鼻腔炎・鼻茸，咽頭炎・咽頭浮腫，咽頭ポリープ・結節，食道の炎症(腐蝕性食道炎，直達鏡使用後)及び食道拡張術後，耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法，口腔外科領域の手術後の後療法〔関節腔内注射〕慢性関節リウマチ，若年性関節リウマチ(スチル病を含む)，強直性脊椎炎(リウマチ性脊椎炎)に伴う四肢関節炎，変形性関節症(炎症症状がはっきり認められる場合)，外傷後関節炎，非感染性慢性関節炎〔軟組織内注射〕関節周囲炎(非感染性のものに限る)，腱炎(非感染性のものに限る)，腱周囲炎(非感染性のものに限る)，耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法，難治性口内炎及び舌炎(局所療法で治癒しないもの)〔腱鞘内注射〕関節周囲炎(非感染性のものに限る)，腱炎(非感染性のものに限る)，腱鞘炎(非感染性のものに限る)，腱周囲炎(非感染性のものに限る)〔滑液嚢内注入〕関節周囲炎(非感染性のものに限る)，腱周囲炎(非感染性のものに限る)，滑液包炎(非感染性のものに限る)〔ネブライザー〕気管支喘息，びまん性間質性肺炎(肺線維症)(放射線肺臓炎を

含む), アレルギー性鼻炎, 花粉症(枯草熱), 副鼻腔炎・鼻茸, 咽頭炎・咽頭浮腫, 咽頭ポリープ・結節, 食道の炎症(腐蝕性食道炎, 直達鏡使用後)及び食道拡張術後, 耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法〔鼻腔内注入〕アレルギー性鼻炎, 花粉症(枯草熱), 副鼻腔炎・鼻茸, 耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法〔副鼻腔内注入〕副鼻腔炎・鼻茸, 耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法〔鼻甲介内注射〕アレルギー性鼻炎, 花粉症(枯草熱), 耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法〔鼻茸内注射〕副鼻腔炎・鼻茸〔咽頭・気管注入〕咽頭炎・咽頭浮腫, 咽頭ポリープ・結節, 耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法〔中耳腔内注入〕急性・慢性中耳炎, 滲出性中耳炎・耳管狭窄症, 耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法〔耳管内注入〕滲出性中耳炎・耳管狭窄症〔食道注入〕食道の炎症(腐蝕性食道炎, 直達鏡使用後)及び食道拡張術後, 耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法

【用】〔筋肉内注射〕1回 20~80mg を 1~2 週おきに筋肉内注射する。〔関節腔内注射, 軟組織内注射, 腱鞘内注射, 滑液嚢内注入〕1回 2~40mg を関節腔内, 軟組織内, 腱鞘内及び滑液嚢内にそれぞれ注射又は注入する。原則として投与間隔を 2 週間以上とすること。〔ネブライザー〕1回 2~10mg を 1日 1~3 回ネブライザーで投与する。〔鼻腔内注入, 副鼻腔内注入, 喉頭・気管注入, 中耳腔内注入, 耳管内注入〕1回 2~10mg を 1日 1~3 回鼻腔内, 副鼻腔内, 喉頭あるいは気管, 中耳腔内及び耳管内注入する。〔鼻甲介内注射, 鼻茸内注射〕1回 2~40mg を鼻甲介内及び鼻茸内注射する。〔食道注入〕1回 2mg を食道注入する。

【副】誘発感染症, 感染症の増悪, 続発性副腎皮質機能不全, 糖尿病, 消化性潰瘍, 膵炎, 精神変調, うつ状態, 痙攣, 骨粗鬆症, 骨頭無菌性壊死, ミオパチー, 緑内障, 後嚢白内障, 血栓症, アナフィラキシー様反応, 喘息発作, 月経異常, 下痢, 悪心・嘔吐, 胃痛, 胸やけ, 腹部膨満感, 口渇, 食欲不振, 食欲亢進, 多幸症, 不眠, 頭痛, めまい, 筋肉痛, 関節痛, 関節の不安定化, 疼痛・腫脹・圧痛の増悪, 局所組織の萎縮による陥没, 満月様顔貌, 野牛肩, 窒素負平衡, 脂肪肝, 浮腫, 血圧上昇, 低 K 性アルカローシス, 網膜障害, 眼球突出, 白血球増多,

瘰癧, 多毛, 脱毛, 色素沈着, 皮下溢血, 紫斑, 線条, 掻痒, 発汗異常, 顔面紅斑, 創傷治癒障害, 皮膚菲薄化・脆弱化, 脂肪織炎, 発熱, 疲労感, ステロイド腎症, 体重増加, 精子数及びその運動性の増減

【妊】有益のみ 【授】授乳回避

【小】慎重

* ヒトインスリン Insulin Human

【商】ノボリン R フレックスペン

Novolin R FlexPen ノボ・ノルディスクファーマ
注射: 液剤^㉔ 1 筒 (3mL) 中 300 単位

【商】ノボリン N フレックスペン

Novolin N FlexPen ノボ・ノルディスクファーマ
注射: 懸濁剤^㉔ 1 筒 (3mL) 中 300 単位

【商】ノボリン 10R 30R 50R フレックスペン

Novolin 10R 30R 50R FlexPen

ノボ・ノルディスクファーマ

注射: 懸濁剤^㉔ 1 筒 (3mL) 中 300 単位 (溶解インスリン: イソフェンインスリン=1:9, 3:7, 5:5)

【禁】低血糖症状を呈している患者, 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】インスリン療法が適応となる糖尿病

【用】R 毎食前に 2~20 単位を皮下注する。持続型インスリン製剤の投与量を含めた維持量は 1日 4~100 単位である。

N 初期は 1回 4~20 単位を朝食前 30 分以内に皮下注するが, ときに回数をふやしたり, 他のインスリン製剤を併用する。維持量は 1日 4~80 単位である。

10R 30R 50R 1回 4~20 単位を 1日 2 回朝食前と夕食前 30 分以内に皮下注する。1日 1 回投与のときは朝食前に皮下注する。維持量は 1日 4~80 単位である。

【副】低血糖, アナフィラキシーショック, 血管神経性浮腫 血圧降下, アレルギー, 蕁麻疹, 発疹, 掻痒感, 肝機能障害, 嘔気, 食欲不振, 治療後神経障害, 糖尿病網膜症の顕在化・増悪, 眼の屈折異常, 注射部位の疼痛・発赤・腫脹・硬結・リポディストロフィー・発疹, 浮腫, 発熱

【妊・授】注意

【小】インスリン需要量変化注意

【貯】遮光, 2~8